



令和5年2月28日
社会福祉法人えどがわ
宇喜田おひさま保育園

今年度も残すところあと一か月となりました。この一年でこころも身体も大きく成長し、進級や就学を心待ちにしている姿が見られます。元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月を大切に過ごしましょう。



3月3日は「耳の日」

耳は大切な感覚器の1つです。乳幼児期は、言葉を聞いて習得するため、言葉の発達にとって大切な時期です。そのため、聞こえにくさなどがあると、言葉の発達が十分にできません。子どもを呼んでも気づかなかったり、いつも大きな声で話をしていたりする時は、耳鼻咽喉科を受診するようにしましょう。

子どもでも花粉症になるの!?

最近では花粉症発症の低年齢化が進み、2～3歳の発症も増えています。アレルゲン（花粉）が鼻や目に反応すると、くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目のかゆみ・充血などの症状を引き起こしますが、この時期の屋外で症状が出るものは花粉が原因の「花粉症」の可能性がります。



大人と子どもの症状に差が!?

- 【くしゃみ】より【鼻づまり】が主な症状
- 大人はサラサラ、子どもは少し粘っこい鼻水
- 目の症状も高い確率で発現
- 鼻をピクピク、口をモグモグも花粉症の合図
気になる症状があれば耳鼻科を受診しましょう。

気をつけましょう! 耳の病気

外耳炎

原因

耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿疹ができた状態。耳垢が原因になることもあります。

症状

外耳道に湿しんができたり、かゆい、耳を触ると痛むほか、発熱やうみが出ることもあります。

治療

抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まります。

ポイント

外耳炎になったら、耳をむやみに触らないようにします。

急性中耳炎

かぜが原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態です。

激しい耳の痛みと、高熱。一時的な難聴・閉そく感があります。耳だれが出たり、おう吐や下痢の症状がでることも。

化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まります。

繰り返し中耳炎を起すすと滲出性中耳炎になりやすいので、しっかり治療をしましょう。

しんじゅつせい 滲出性中耳炎

中耳内に分泌液がたまった状態です。かぜや急性中耳炎の繰り返し原因で起こります。

痛みや熱はないですが、耳が聞こえにくくなり閉そく感・耳鳴りがあります。

必要に応じて、鼓膜を切開し、たまった液を抜いて様子を見ます。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多いです。

痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえや様子の変化に注意しましょう。